

謹賀新年



すべての市民が活躍する
「市民協働」の
まちづくりを目指して
五所川原市長 佐々木 孝昌

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
市民の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、8月の大雨災害において、市内で多数の浸水や冠水被害が発生し、市民生活や社会経済に大きな爪痕を残しました。改めて、自然災害に対する日頃からの備えと地域における助け合いの必要性を認識したところです。幸い人命に関わる被害はなく、復旧・復興にご協力いただいた方々に対しまして、心より感謝申し上げます。

また、4月の金木観光物産館「産直メロス」のオープンを皮切りに、ウィズコロナでの「前進」の年として、地域経済と市民生活の再生に向けた取り組みを進めてまいりました。

本年は、引き続き市民の皆様と力を合わせ、地域の元気を取り戻していくとともに、若者が当市に魅力を感じ、高齢者が健康で安心して住み続けられるまちづくりを進めてまいります。

○地域経済・地域産業の活性化に向けて

長引く新型コロナウイルス感染症の影響に加え、燃料費や原材料価格高騰などといった社会情勢の変化により、依然として地域経済は低迷しており、市では、地域振興券を発行し市民の皆様消費を喚起することで、落ち込んだ市内事業者の売上げ向上を図っておりますが、今後も関係機関と連携しながらスピード感をもって、事業継続のために必要な支援を講じてまいります。

また、「五所川原立佞武多」が本年度25周年を迎えます。新作の大型立佞武多「素戔鳴尊(すさのおのみこと)」は、感染症や自然災害等による厄災がこれ以上降りかからないようお願いを込めて制作するものであり、本年の「五所川原立佞武多」をコロナ禍からの再出発と地域のにぎわいを取り戻す象徴として盛大に開催し、観光需

要の回復と地域の活性化を図ります。
物産販売の面では、昨年盛況だった「ホコ天マルシェ」を今年も継続して開催するとともに「産直メロス」を拠点とした特産品の販売について、生産者からの相談体制をいっそう充実させ、より戦略的に販路を拡大し、生産者の所得向上と魅力的な生業づくりを推進します。

○魅力ある、住み続けられるまちづくり

市では、子育て世代の経済的負担の軽減を図るなど、子育てを取り巻く環境を充実させることで若い世代の定住を促進してまいりました。引き続き、子育て世代や未来の担い手である子どもたちが、地元を誇りを持って将来にわたって住み続けたいと思えるような魅力的なまちづくりを進めます。

また、買い物に不便を感じている高齢者への支援に取り組みながら、元気な高齢者が生きがい・やりがいを感じて活動・活躍できる機会を創出します。

さらに、市浦地域では健康増進施設「ここに温泉しうら」の開業を控えており、これまで以上に健康づくり事業を拡充しながら、高齢者が生まれ育った地域で安心して住み続けられる健康長寿社会を実現してまいります。

結びに

目まぐるしく変化する社会情勢により、行政が取り組むべき課題が山積していますが、一つ一つの課題を確実に解消するために、市民の皆様へ寄り添い、心の通った思いやりのある行政サービスを展開してまいります。

そして、すべての市民の方々が生活の豊かさを実感し「良くなった」と実感できるよう、市民目線の市政運営に努めてまいりますので、本年もご支援とご協力を賜りますとともに、皆様にとって素晴らしい年となりますことを心よりご祈念申し上げます。年頭のごあいさついたします。



災害と健康に強い
地域コミュニティを

五所川原市議会議員 磯邊 勇司

明けておめでとうございます。
五所川原市議会を代表し、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年を振り返りますと、当市では3年振りの花火大会や立佞武多の運行の復活など、明るい話題もありました。

一方で、急速な円安による原材料の輸入コストの増加やウクライナ情勢等混迷を極める世界情勢の中、さまざまな物価の高騰は、私たちの生活を直撃しております。

○自然災害は起こるものとして

昨年8月3日、そして9日からの記録的な大雨は、津軽地方に甚大な被害をもたらしました。比較的自然災害が少ないと思われた当地域においても、いつ災害が起きてもおかしくない状況であると感じた方も多かったと思います。

今回の豪雨では、家屋の浸水、道路などの公共土木施設や農地・農業用施設の損壊、また収穫を目前に控えた農作物の冠水などの被害が確認され、市民の皆様生活はもとより、地域の産業・経済に深刻な影響を与えております。

自然災害からの被害を最小限に抑えるためには、日頃からの地域コミュニティでの活動が重要となることから、再度のお願いになりますが、地域内で災害対策について話し合う機会を持っていただき、自主防災組織の結成や地域内での防災訓練の実施など、備えを怠りなくすることが望まれます。

○健康寿命延伸に向けて

青森県の平均寿命は男性・女性ともに全国最下位であります。平均寿命も大事ですが「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」

を意味する健康寿命にも関心が高まっております。新型コロナウイルスの影響で外出機会が減少し、特に高齢者の運動量が低下したことによる「フレイル」が危惧されておりますが、適度な運動習慣に加え、地域コミュニティでの活動を行っていただくことで、運動量や身近な方とのコミュニケーションの増加、さらには災害での共助への取り組みにもつながってまいります。

また、本年は市浦地域に健康増進施設「ここに温泉しうら」の開業も予定されており、健康寿命延伸に向け、トレーニング室も大いに活用していただきたいと思っております。

結びに

本年の干支である「卯年」は、兎には跳ねる特徴があるため、景気が上向きに跳ね回復するとされており、縁起の良い年として知られているほか、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれており、新しいことへの挑戦には最適な年といわれております。

市議会といたしましても、市政の進展、そして市民の皆様生活を守ることができるようまい進してまいりますようお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして幸多き年となることを祈念し、新年のごあいさついたします。

